

(要旨)

経営政策部長	経営政策部次長 (総合調整担当)	経営政策部次長 (経営担当)	企画政策課長

定 例 経 営 会 議 ・ 議 事 録

年 度	平成31年度	回 数	第10回
日 時	令和元年11月26日 午前9時30分～10時25分		
場 所	庁議室(本庁舎3階)		
出 席 者	渡部市長 荒井副市長 村木教育長 野口会計管理者 間野経営政策部長 東村総務部長 清水市民部長 武岡地域創生部長 平岡環境安全部長 大西資源循環部長 山口健康福祉部長 瀬川子ども家庭部長 粕谷まちづくり部長 野崎教育部長 欠席者:南部議会事務局長		
次 第	1. 開会 2. 報告事項 (1) 令和元年度東村山市版株主総会について (2) 市長・副市長日程の閲覧と留意点について (3) 令和2年市民功労表彰の候補者推薦(依頼) (4) 時間外勤務の縮減に向けた取り組みについて (5) 本庁舎2階厚生室等の改修について (6) 総務会議のペーパーレス化について (7) その他 3. その他 4. 閉会		
会 議 経 過	次頁参照		

1. 開会(市長あいさつ)

・11月16日に令和元年度東村山市版株主総会行われ、今回も3.51点という一定のご評価をいただいた。5点7人、4点22人ということで、市役所よく頑張っているという高評価の一方で、2点が10人いらっしやった。株主総会を開始した当初のころは3点という平均的な評価が一番多かったが、ここ数年は良い評価と悪い評価に両極化する傾向が見受けられている。参加者の皆さんのグループワークの話し合いの雰囲気を見ていると、若い方は保育園が足りていないなどの意見から満足度が低いかなという印象があった。一方で比較的、年齢の高い方には市役所よくやっていると思っていただけているように私の主観だが感じた。我々の取り組んでいるさまざまな政策の果実を若い方にも実感いただけるようにしないと、若い方の定住意向が高まっていけないとも感じたところである。

・11月21日に東京都庁で東京都市町村協議会が行われ、都庁の知事、副知事、幹部、市町村会の役員が意見交換の場が設けられ、今回は副知事に就任されたYahoo元社長の宮坂副知事が、東京におけるデジタルフォーメーションについてというテーマでご講演された。平成という時代の30年間は、ソフトウェアが世界を飲み込んだ時代で、飲み込む側と飲み込まれた側で明暗が分かれたとのこと。平成元年の株式の時価総額ランキングで世界のトップ10に日本の銀行等が7社入っていたそうだが、平成30年では1社も入っていない。平成30年の10位以内は、アップル、アマゾン、マイクロソフト、フェイスブック、アリババなど、7社がソフトウェア関連会社であるということだ。これから、どれだけデジタルフォーメーション組めるかということで、東京も世界に生き残れる都市になるかどうか、21世紀はデータ利活用都市間競争の時代だという話だった。今後、東京都は5Gをいち早く導入して、どこでもつながるまち東京データハイウェイを構築したいということだった。もう1つはデジタル人材が都庁でも100名程度しかいないらしく、世界的に見ると圧倒的に少ないとのこと、デジタル人材の育成が今後の課題とのこと。これは我々、基礎自治体にとっても大きな課題と感じた。11月19日に当市のICT環境整備の支援を頂いている日本PFI・PPP協会から中間報告あったが、東村山市がスマート自治体を目指す上でネックになるのがデジタル人材の確保とのことだった。これはなかなか自前で解決するのか難しいので民間事業者と連携していくことが有用と感じた。宮坂副知事には、ぜひ都庁が音頭を取ってオール東京で、デジタル人材育成については進めていただきたいとお願いさせていただいた。

・11月23日、24日、第3回八国山芸術祭が行われた。平成26年の市政施行50周年記念をして、市内の小中学校、高等学校の文化系のクラブ・部活の発表の場を作ろうということで開催をしたもので、その後、平成28年に行い今回で3回目の開催となった。私としては3年ごとに芸術祭を行って、子どもと若者の文化の振興を図っていき、東村山市における子ども文化のトリエンナーレに発展させられればと思っている。参加した子どもたちが、いきいきと表現活動されており、スポーツは色々な大会があるが、文化系芸術系をやっている子どもたちの学校以外での発表が少ないので、教育委員会と連携しながら継続発展させていきたいと思っている。

・明後日から、市議会12月定例会が開会する。荒井副市長の有終の美が飾れるような議会とな

るよう全員で力を合わせて頑張っていきたい。

2. 報告事項

(1) 令和元年度東村山市版株主総会について

・例年通り 3,000 名の方を無作為抽出し、ご案内を出したところ 66 名からお申し込みいただき、当日は 53 名の方が参加された。評価の平均点が 3.51 で昨年の 3.23 より向上した。ここ数年の傾向と今年も同じで。市が力を入れるべき分野として、子育て分野と都市基盤分野に多くの票が入った。投票結果は、5 点が 7 票、4 点が 22 票、3 点が 12 票、2 点が 10 票、1 点は 0 票（投票前に 2 名退席）となり、近年同様の高評価と低評価が二極化している。高くご評価いただいている点と、参加者の発表では改善して欲しいという意見も多々出たので、この結果については庁内で共有していただきたい。

(2) 市長・副市長日程の閲覧と留意点について

・4 月よりグループウェアを導入したが、12 月より市長、副市長のスケジュール閲覧を加える。今後は理事者の日程確認についてはグループウェアを確認いただき、緊急案件の場合は各所管で調整をすることも可能になる。

(3) 令和2年市民功労表彰の候補者推薦(依頼)

・毎年 4 月に行っている市民功労表彰のご推薦を各所管よりいただきたい。

(4) 時間外勤務の縮減に向けた取り組みについて

・時間外勤務縮減に向けた取組みと、現状について情報共有を図った。

(5) 本庁舎 2 階厚生室等の改修について

・本庁舎 2 階の第一厚生室、休憩室、旧喫煙室、市民部のご協力を得てリフレッシュ、コミュニケーションの場とするような改修を行っているが、改修工事は今週末に終わる予定で、この後、包括施設管理委託の委託業者である大和リースから公民連携の取組みとして提案を受け。ヴェルデニアというパッケージ商品を導入し 12 月 23 日から供用開始する。自由に使える A スタジオ、滞留場所となるような執務や会議が出来る空間を B スタジオとなる。庁内に今までにない空間づくりを生み出すことができた。

(6) 総務会議のペーパーレス化について

・現在、総務会議をペーパーレスで進めているが、7 月 24 日から総務会議に参加する次長は、自分の PC を持参し会議を行っている。効果として紙 4,200 枚を 5 回の会議で削減出来ている。

今後も市内の様々な会議体でペーパーレス化の導入が可能か検討してほしい。

3. 閉会(副市長)

12月定例会が始まるが、市内でしっかりと情報共有しながら対応していただきたい。